

講義名	日本語資格試験講座 【留学生科目】(2年生以上)			授業形態	
担当教員	西馬 薫	開講期・曜日・時限	前期 月曜日 2時限		
		単位数	2	履修開始年次	1年生

主題と概要

日本語能力試験N2の合格を目指し、文法・読解を中心に授業を行う。随時、文字語彙の練習問題にも取り組む。

到達目標

- ・課題に応じた読解のし方を身につけることができる。
- ・応用力を支えるしっかりとした文法力を身につけることができる。
- ・自分自身の弱点を知り、さらにレベルアップを図ることができる。

提出課題

授業内に指示する

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

- ・毎回課題の解説をするときに、授業内での質疑応答により理解を深める
- ・小テスト、中間テストのフィードバックを行う。

評価の基準

期末試験(30%)、中間試験(30%)、小テスト(20%)、授業への参加度(20%)

履修にあたっての注意・助言他

- ・課題を行ったうえで、授業に出ること。
- ・出欠は毎回とる(5回以上欠席した場合は、単位を認定することができない)

教科書

.使用しない。				
---------	--	--	--	--

参考図書

その他

- ・随時、資料を配付する
- 【参考図書】
- ①新完全マスター文法N2。スリーエーネットワーク
- ②ドリル&ドリル日本語能力試験N2文字語彙。UNICOM
- ③日本語能力試験N2読む。UNICOM

授業計画

- 1.オリエンテーション、文法、読解
- 2.文法・読解
- 3.文法・読解、語彙(小テスト)
- 4.文法・読解
- 5.文法・読解
- 6.文法・読解、語彙(小テスト)
- 7.文法・読解
- 8.中間テスト(今までの学習範囲)
- 9.中間テストフィードバック
- 10.文法・読解
- 11.文法・読解、語彙(小テスト)
- 12.文法・読解
- 13.文法・読解
- 14.文法・読解、語彙(小テスト)
- 15.期末テスト(全期間の学習範囲)

授業形態(アクティブ・ラーニング)

ア:PBL(課題解決型学習)	<input type="radio"/>	イ:反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
ウ:ディスカッション、ディベート		エ:グループワーク
オ:プレゼンテーション		カ:実習、フィールドワーク
キ:その他(ABL型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)		

準備学修(予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間

- 【予習】
- ・次回、学習する文法項目について、配布プリントに十分目を通しておく(60分程度)
- ・読解の言葉の意味を調べておく(60分程度)
- ・語彙プリントを解いておく(30分程度)
- 【復習】
- 自資料において、授業内で解説した箇所を確認し、定着を図るために再度問題を解いてみる(2時間)

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

留学生を対象とした科目群で、意欲と能力を持ったビジネスパーソンに必要な日本語力を身につけ、資格を取得することによって、物事に自ら進んで取り組むことができる人材を育成する科目である。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

授業内の質疑応答を通して理解を深める

実務経験の有無及び活用

備考